

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園戸塚	種別：保育所
代表者氏名：小林 寿子	定員（利用人数）： 84名
所在地：横浜市戸塚区戸塚町4915-4 リトルパウスB棟	
TEL：045-350-6127	ホームページ： https://www.like-kn.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成20年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 18名 非常勤職員 13名
専門職員	保育士 23名 栄養士 3名
	看護師 1名 調理師 3名
	事務員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	職員室、保育室5、給食室2、 教材室、調乳室、沐浴室
	園庭2 各クラスに園児トイレ・エアコン・空気 清浄機・サーキュレーター

③理念・基本方針

理念： のびやかに育て、だいちの芽

基本方針： みとめ愛、みつめ愛、ひびき愛

- ・陽だまりのような保育園
- ・地域と共に育つ保育園
- ・子どもと共に輝いていける保育園

子どもにとって「第二の家庭」となるように考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・本園、分園に分かれている。

分園には0・1歳児が生活し本園には2～5歳児が生活している。給食室も分かれているので、年齢・月齢に合った給食を提供している。

- ・園庭が各々ある。遊具はないが走り回れるスペースがある。幼児は、夏野菜を栽培し、水やりをしたり、収穫を経験して生命の大切さを学んでいる。

- ・0～5歳児を通して、職員と園児でリズムを学んでいる。

職員は園内研修をしながら、一つ一つの動きを考え、年齢に合った動きを伝えている。

今年度始めたばかりではあるが子どもたちから「やりたい」という言葉がでるようになった。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月28日（契約日） ～ 2022年1月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成28年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

本園・分園に分かれているが、適切な人員配置になるように努めている

・職員採用は法人本部で一括して実施しており、入社時には本部において研修を受講し配属される流れとしている。園では現在31名（保育士23名・看護師1名・栄養士3名・調理師3名・事務員1名）の職員体制で園運営に取り組んでいる。本園・分園に分かれている状況を踏まえ、さらに育成や将来の人材構成を見据え適切な配置に努めている。職責については保育ガイドに明示し、配属後においても法人として実施している継続研修や園内研修、職員会議などで説明し、円滑に各種の業務が推進できるようにしている。

様々な職種の職員が専門性と責任を持ち、子どもに接している

・看護師を中心とした子どもの健康管理や保健指導、栄養士による給食と食育活動など、保育士だけでなく栄養士、看護師などそれぞれの職種の職員が、専門性と責任を持ち連携しながら子どもに接している。日頃から少しの時間でも子どもたちと接し信頼関係を築くことに力を入れており、専門的な知識が子どもにとって身近で学びやすいものとなるように取り組んでいる。

子どもの年齢や発達に応じた環境整備と援助に力を入れている

・各クラスにおいて保育室の環境整備に力を入れて取り組んでおり、年齢に応じた遊びや玩具、絵本などが使いやすく設置され、発達に応じて見直しも行われている。また、子どもの状況に応じて活動と休息のバランスをとり一日を楽しく過ごせるように流れを大切に援助している。

◇改善を求められる点

一貫した目標の共有を目指し、さらに職員間の話し合いを充実させることを必要としている

・全体的な計画を基本として、年度の計画、月の計画、週案へと落とし込むようにしており、各期ごとに子どもや環境の状況に合わせて見直すようにしている。また、子どもや家庭に関する情報は職員会議をはじめ各種の会議で共有するようにしており、会議録は全職員に見てもらおうようにしている。各クラスとも、その年度のねらいや取り組みは担任を中心に適切に計画されているが、「一貫した目標」や「受け継がれていく目標」については、職員間の話し合いを充実させることを必要としている。

保護者支援にさらに力を入れることを課題している

・日々のコミュニケーションによって保護者との信頼関係が築けるように、送迎時の挨拶や会話などに出来る限り取り組んでいる。コロナ禍において、送迎は玄関対応であり時間も限られていることや、面談に不参加であった保護者への対応など、保護者支援についてはさらに力を入れ取り組んでいくことが必要であり課題としている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受審しましたが、一つ一つの事柄に対して深く考えずにいたことがよくわかりました。

事業所は一人で成り立つものではなく、そこには、職員（保育士、看護師、栄養士、調理員）がいて、各々の専門知識、技術をもって力を合わせ、話し合いをし意識を共有していかないと成りたないことを改めて考えさせられました。

評価するだけでなく、問題点も見えてきたので、できるところから取り組もうと考えています。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり